



2026 年 10 月 9 日

各 位

上 場 会 社 名 シ グ マ 光 機 株 式 会 社
 代 表 者 代表取締役社長 近 藤 洋 介
 (コ ー ド 番 号 7713)
 問 合 せ 先 責 任 者 取締役管理本部長 石 井 康 之
 (T E L 0 3 - 5 6 3 8 - 8 2 2 1)

2027 年 5 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) 業 績 予 想 及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年 7 月 14 日に公表した 2027 年 5 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) (連 結 ・ 個 別) の 業 績 予 想 及 び 2027 年 5 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) の 業 績 予 想 を 下 記 の 通 り 修 正 い た し ま し た の で 、 お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 2027 年 5 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (2026 年 6 月 1 日 ~ 2026 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株 当 た り 中 間 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 5,830	百万円 675	百万円 700	百万円 460	円 銭 64.95
今回修正予想(B)	7,025	1,050	1,115	760	107.31
増減額(B-A)	1,195	375	415	300	
増減率(%)	20.5	55.6	59.3	65.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2026 年 5 月 期 第 2 四 半 期)	5,441	526	589	382	54.05

2027 年 5 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (2026 年 6 月 1 日 ~ 2026 年 11 月 30 日)

	売上高	経常利益	中間純利益	1 株 当 た り 中 間 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 4,700	百万円 570	百万円 385	円 銭 54.36
今回修正予想(B)	5,580	810	550	77.66
増減額(B-A)	880	240	165	
増減率(%)	18.7	42.1	42.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2026 年 5 月 期 第 2 四 半 期)	4,383	574	387	54.67

2. 2027 年 5 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (2026 年 6 月 1 日 ~ 2027 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 11,880	百万円 1,355	百万円 1,440	百万円 975	円 銭 137.67
今回修正予想(B)	13,805	2,000	2,130	1,480	208.98
増減額(B-A)	1,925	645	690	505	
増減率(%)	16.2	47.6	47.9	51.8	
(ご参考)前期実績 (2026 年 5 月 期)	11,439	1,179	1,304	831	117.36

2027 年 5 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (2026 年 6 月 1 日 ~ 2027 年 5 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 9,600	百万円 1,160	百万円 810	円 銭 114.37
今回修正予想(B)	11,180	1,615	1,120	158.14
増減額(B-A)	1,580	455	310	
増減率(%)	16.5	39.2	38.3	
(ご参考)前期実績 (2026 年 5 月 期)	9,245	1,171	773	109.29

3. 修正の理由

売上高は、当第1四半期累計期間(連結・個別)において、生成 AI や AI データセンター関連の活発な設備投資による需要拡大等を背景とした電子部品・半導体関連、特に光電融合関連のエレクトロニクス業界の業況の影響を受ける形で推移し、国内の他、米国及び中国を中心に海外地域向けの需要回復が継続した結果、総じて好調に推移いたしました。このような状況の中、第2四半期以降においては、いまだ世界経済の先行き不透明な状況は続いてはおりますが、足元の当社グループの受注高は、電子部品・半導体関連、特に光電融合関連のエレクトロニクス業界向けには光学素子・薄膜製品セグメントの製造装置・検査装置組み込み用途のミラー及び球面レンズや、自動応用製品セグメントの調芯システムを含む高精度位置決め用途の自動ステージの需要が増加傾向で推移しております。加えて、医療分野・防衛分野向け等のシステム製品セグメントの需要も堅調に推移するとの見通し等に基づき、連結・個別の 2027 年5月期第2四半期(中間期)及び通期の業績予想を上方修正することといたしました。

利益面につきましては、当社を含むグループ会社全体の増収による限界利益率の改善や、高付加価値製品の需要回復、売上高における製品ポートフォリオの改善等による利益押し上げ効果等が見込まれることから、各利益項目について、上記の通り上方修正いたします。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。中間配当金及び期末配当金は、それぞれ1株当たり25円、年間配当金は1株当たり50円を予定しております。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。又、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上